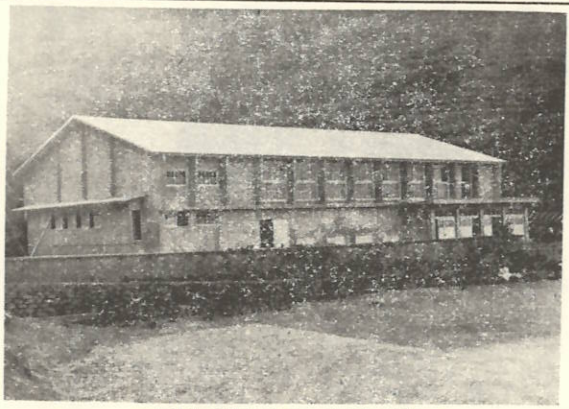
新広報伊方町

発行人 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 伊方町総務課
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市天神通 電話91番



完成した町見中学へき地集会室

昭和三十七年度 教育基本方針きまる

伊方町教育委員会では四月七日委員会を開催昭和三十七年度の教育基本方針をうちだしました。町をあげて教育尊重の気風を醸成し「教育による町づくり」の実現につとめることになり大要は

一、教育目標

(一)教育の民主化を図り、自主性の確立を期する。

(二)道義の昂揚をはかり愛郷心、愛国心に富む平和的、文化的町民の育成につとめる。

(三)秩序を重んじ、責任をまつとうし合理的にして積極的な日常生活態度をかん養する。

(四)変ぼうする現代社会に対処する自覚と協調性をかん養し明朗活達な社会性の形成につとめる。

(五)教育と一般行政の一体化をはかり町民の福祉増進に寄与する。

二、学校教育の努力目標

(一)学習指導要領の研究を進めその実践につとめる。

(二)学習指導の改善をはかり、学力の向上につとめる。

(三)道徳教育の徹底をはかり、特に地域社会の協力を得て指導対策の万全を期する。

(四)情操教育を進展させ豊かな心情を培う。

(五)学校保健体育の振興をはかり、自主的な健康生活の習慣化につとめる。

(六)勤労を愛好し協調精神を培う。

(七)特殊児童生徒(精薄、身体きよ弱、肢体不自由等)教育の実現につとめる。

(八)科学技術教育の推進をはかり、進展する産業技術の育成向上につとめる。

(九)進学、就職の適正指導につとめる。

三、学校施設、設備の整備充実

(一)特別教室の整備に重点をおき、予備教室の活用計画とその他必要施設の五ケ年整備計画を立案する。

(二)小学校については、児童の減少による教室利用の計画

(三)中学校については、教科課程の改訂による必要設備の充実計画

(四)学校給食施設、設備の早期実現により、児童生徒の体力増進をはかる。

四、社会教育の努力目標

(一)部落会民館の育成につとめ産業振興意欲の昂揚をはかる。

(二)成人、婦人、青年の各学級を充実し、文化的人間の形成につとめる。

(三)社会体育の振興と健全なリクリエーションの育成につとめる。

(四)時間厳守と家計簿記帳による、生活設計の徹底を期する。

(五)視聴覚教育の徹底とマス・コミの善用につとめる。

(六)民主団体の指導育成につとめる。

(七)社会教育事業計画の完全実施につとめる。

簡易保険で楽しい生活

簡保加入月間

春季赤ちゃん 健康診査会開く

昭和三十七年度春季の赤ちゃん健康診査会が四月四日より三日間役場、支所で開催され、四月六日次の赤ちゃんが優良児として表彰をうけました。町内の診査該当児は九三名で七四名が参加しました今回の診査児は三十六年一月より六月までの出生児です。

一月生

小中浦 市来 和利 昌男 二男
宮崎 要 大浜 中村 公宣 二男
古藤 秀哉 道子 長男 田ノ浦
橋本 茂樹 利照 長男 豊ノ浦
清家 春二 守 二男 鳥津
西村 静江 清広 二女 河内
門田 浩子 一成 長女 五月生
川永田 松下 幸長 長男
小中浦 二宮 定司 倉之介長男 加周
古屋敷 大池 満也 金治 長男 古田
仁田ノ浜前田 正人 近雄 長男 川永田
湊 浦 大政 久乃 清造 長女 田ノ浦
豊ノ浦 中川りつ子 鏡太郎四女 豊ノ浦
湊 浦 渡辺 久美 作光 長女 六月生
中ノ浜 竹中 美保 武徳 四女 大浜
湊 浦 松田 真治 孝道 長男 中藤
三月分 仁田ノ浜 小中浦 渡辺 常 仙吉 雅夫 二男
川永田 畑中 公彦 敏行 長男 福田 恵美 稔 二女 渡辺美代 四郎 二女 長女

二月生

河内 前堂 欣一 宏志 長男
岡村 幸治 義光 長男
弥市 竹内 功 長男
高明 三治男長男
岡山 清家 里美 一男 二女
川永田 渡辺 千代 浮 三女
西 豊ノ浦 松田 順子 カヨ 逸夫 二女 長女
四月生

大浜 宮崎 要 愛市 三男
中村 公宣 公也 二男
田ノ浦 高石ゆかり 定 長女
豊ノ浦 茂 春美 二女
鳥津 西村 浩子 春美 二女
木戸 富美 健次 長女
五月生

川永田 松下 幸長 長雄 長男
加周 古田 昌彦 寿栄春長男
前田 兵頭 武政 寛一 長男
川永田 山下 善穂 源太郎長女
田ノ浦 河野 幸子 牧夫 二女
豊ノ浦 飛 馬 兵頭 義弘
愛媛 鶴 阿部 吉雄
滝 泉 堀内 初雄
萬 楽 山口 梅男
福 清家 一俊
福井 東 文一
朝 潮 水本
新 萬 福
萬 福 清家 一俊
出石正宗 福田 春雄
阿ら玉 宮崎喜久治
萬 楽 山口 梅男
飛 馬 兵頭 義弘
愛媛 鶴 阿部 吉雄
滝 泉 堀内 初雄
萬 楽 山口 梅男
福 清家 一俊
福井 東 文一
朝 潮 水本
新 萬 福

新しい農業委員

農業振興計画の樹立、農業技術の改良、農業経営の合理化及び農民生活の改善、又農業生産、農業経営、農民生活など農民に関する調査研究などを行うとともに啓もう宣伝など今度三ケ年間担当する新しい農業委員会の委員さんが、一号、二号、三号とそれぞれ選出されました。

第一号委員選挙により選出された委員

安部 若松 河内
岩井 只介 二見
森元財一郎 奥
太田 太助 加周
黒田 市栄 大浜
丸山 臨吉 湊浦
井村 金積 仁田ノ浜
菊池 芳勝 川永田
渡辺勘太郎 豊ノ浦
桝田 万蔵 須賀

第二号委員、農業協同組合又は農業共済組合の代表として推せんされた委員

伊方町農業協同組合 山本 長松
町見農業協同組合 林 英徳
伊方町農業共済組合 高門嘉夫留

第三号委員、学識経験者であって町長の選任した委員

伊方町長 川口 寛之
町議会産業委員長 重岡 太守

＝自醸酒品評会開く＝

西宇和郡酒造従業者組合の主催で自醸酒品評会が四月三日より五日まで開催されました。

出品点数は二六一点で、優等一位に千両がきまり優勝旗を授与されました。成績は次の通りです。

優等々位 酒銘 杜氏氏名
優等一位 千両 菊池 祐善
二位 萬福 清家 一俊
三位 滝泉 堀内 初雄
四位 千鳥 泉 信吉
五位 金丸 西平 寿衛
六位 暖雪 山本 清
七位 愛媛 滝泉 堀内 初雄
八位 萬楽 山口 梅男
〃 萬福 清家 一俊
〃 新朝 福井 東 文一
〃 日々の力 兵頭 正一
〃 九位 金紋東洋 谷口 惟泰
十位 愛媛鶴 阿部 吉雄

参議院議員 通常選挙を迎えて

ことしは、昭和三十一年七月に行なわれた第四回参議員議員通常選挙で選出された議員の任期が七月七日に満了するので、その改選のための通常選挙が近く行なわれる従来、参議員議員選挙上における投票率は大体六〇%前後で、衆議員議員選挙の場合にくらべて約一〇%ほど低いのが例であった。その原因は、ひとつには、町民の参議院に対する関心が薄いことにあったものと思われる。

わが国の国会は、衆議院と参議院の両院で構成されている。国によっては、一院制をとるもの(ウインランド、ギリシヤ等)もあり二院制をとるもの(イギリス、アメリカ等)もあるが、二院制をとる理由は、第一院が完全に国民を代表していない場合があり、国民の意見をできるだけ国会に反映させ、第一院における行き過ぎを抑制し、議事を慎重かつ合理的にさせるためである。また、解散など合には、第二院がそれを補完する必要もある。これが参議員の存在意義である。

参議院は、衆議院と同じように「全国民を代表する選挙された議員で」組織されるが、二院制の意義を発揮させるため、衆議院とこと

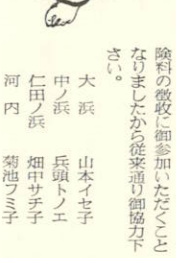
となった構成方法がとられている。つまり、参議院は、地方選出議員一五〇人と全国選出議員一〇〇人の計二五〇人の議員で組織される地方選出議員は各都道府県の区域を選挙区として、また全国選出議員は全国をひとつの選挙区として選出される。任期は六年で、三年ごとに半数ずつが改選される。参議院には解散の制度はなくその通常選挙は定期的に行なわれる今回の通常選挙は、昭和三十二年四月の第一回通常選挙から数えて第六回目にあたる。

この選挙は、現在開かれている第四〇通常国会が五月七日に閉会した場合には、六月七日から七月六日の間に行なわれることになる。衆議院が、衆議院とともに、「国権の最高機関」として、わが国の政治に果たす重要な役割を考えるとき参議院に対する認識と関心を高めることが肝要である。

今後も毎月十五日と二十日は相談日になっていますので、自分で解決出来ない問題は、どしどし相談日にお出いただき楽しい幸福な生活にして下さい。

楽しい生活のために 心配ごと相談所を！

昨年二月心配ごと相談所が開設され、お互の幸福のため、医療、生業の問題或は、児童の問題など、複雑にからみあって生活上たくさんのなやみを自分で解決できない方々のために、民生委員さん、その他の協力者の御努力で本年三月までに一二〇件を受付け四件の未解決をのこし全部解決いたしています。



伊方町心配ごと相談所相談状況調

月別	2月	3月	4月	5月	7月	8月	9月	10月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	25	14	20	10	7	8	4	21	3	3	3	2	120

相談の処理状況

種類	医療	生活	生業	年金	資金	法律	児童	土地	身障	その他
解決	12	19	8	10	5	34	4	9	1	14
未解決						1		1	1	1
合計	12	19	8	10	5	35	4	10	2	15

国民年金 保険料の納入方法がかわりました！

昭和三十六年四月から開始された国民年金の保険料の納入については、係員が定められた日に部落に出向き又当日納入のなかった分については各家庭に出向き、保険料を納めていただく方法をとっていましたが、本年四月からは、母子福祉会の御協力をえて、各部落を担当していただき次の方々が保険料の徴収に御参加いただくことなりましたから従来通り御協力下さい。

大浜 山本イセ子
中ノ浜 兵頭トノエ
仁田ノ浜 畑中サチ子
河内 菊池フミ子
湊浦 明神アサノ
小中浦 坂本シカエ
伊方越 辻 美子
亀浦 田中ツマエ
中浦 本田イシヨ
川永田 阿部ツネ子
豊ノ浦 竹内ヨ子
奥 渡辺 マサ
畑須賀 辻トトラエ
西久保 密谷ヤス子
二見 根来セキエ
田ノ浦 金山 貞子
加周古屋敷 古田 イワ
大池ナナエ
大成 竹内ヨ子
鳥津 年金係員

農業近代化資金 共同化資金の融資受付を始めます

農業と他産業との所得の較差が大きくなっている今日、政府はこの矛盾を解消するために農業構造改善事業を三十六年度より十年計画で町村当り一億二千万円で実施されることになりました。このような情勢下でお互い農家も積極的に経営拡大と近代化を図らなければなりません。昨年度はその意慾も旺盛で制度融資の活用が果樹園造成事業を筆頭に二千五百万円を本町に融資されています。

本年も次の要領で借入希望者の受付を行いますので詳細な計画を樹て、申込み下さい。

1、受付期間 五月五日より五月三十一日まで

2、受付場所伊方町農協及び町見農協

3、融資条件

(イ)融資対象 農業用施設機械器具果樹の植栽未墾地取得及び造園家畜導入の資金

(ロ)融資期間 三年から十年まで

(ハ)利率 年五分五厘

NHKの放送受信料が
四月からかわりました

最近テレビが非常に普及し、ラジオとテレビを合せてお持ちになる家庭が多くなって来ましたが、こうした現状を考慮し、さらに「受信料制度調査会」の答申等を尊重して、四月から放送受信料が次のように改正されました。

①テレビ総合、教育の放送局を約八〇〇局建設する。

②新しい受信料額

NHKの行なうすべての放送受信料

一カ月　三三〇円

ただしラジオだけの場合

一カ月　五〇円

【集金は従来どおり二ケ月ごとにお伺いします】

③NHKの第二次六カ年計画

このような新しい受信料は、NHKがこれから六年間にしなければならない事業を中心にさらに将来の見通しなどを考えあわせ、決められたものです。

NHKではよい番組を全国すべての二家庭におとどけするため、昭和三十七年から四十二年までに受信料の計画を行ないます。

①テレビ総合、教育の放送局を約八〇〇局建設する。

②ローカル番組もふやす。

③スタジオ設備を拡充し、東京テレビセンターを建設する。

④カラーテレビを全国でみられるようにする。

⑤FM放送局を約一五〇局建設する。

⑥番組系列を強化し、ニュース取材態勢を強化する。

⑦放送を利用する通信高等学校の設立を図る。

⑧経営の合理化を図る。

この計画が完成しますと、全国ほとんどの地域で、放送をおたのしみいただけることになります。

五月中旬より六月中旬までの農作業

米麦の耕種について

1、早期水稲苗代の管理

(イ)除紙七日前後に、一斉にマラソン乳剤を散布し苗代周辺全面に撒布。

(ロ)田植七日前に前期(イ)に準じ必行のこと。

(ハ)田植は播種後三十五日を標準として幾気を地帯別に考慮して勘案して植えつけること。

(ニ)基肥は七割を標準にして初期成育の増進に努める。

2、普通栽培水稲

(イ)苗代肥料は農協標準を必ず施用のこと。

(ロ)播種は五月十日前後にして、秋落水田は四五乃至五〇日苗として、その他は三五日位の若苗を植出（田植）するように種蒔

3麦の後期管理について

(イ)ウドン粉サビ病予防、防除のために、四月下旬五月上中旬に展着剤加用石灰硫黄合剤の四〇倍液を充分撒布のこと。なお病害の有無によりまた撒布すると一割五分の増収は確実です。

木酢撒布は中耕除草作業と切り効果テキメン

柑橘の必須作業について

1、接木の適期

四月下旬より五月中旬迄に計画的に作業完遂、時期失せぬこと

2、夏柑の収穫時に着果枝の切返し採収を行ひ、収穫完了後早期に間引剪枝の切返を行ひ、良果大果の生産を次年の出荷に備へましょう。

3、夏柑初夏肥は追肥夏肥を兼用せる事を「ミカン」の考へ方と混同することなく、五月中旬迄に完了がのぞましい。

4、病害防除必行策

(イ)夏柑（雑柑）にたいして第一回目は新葉の展葉期（五月上旬）この期にテデオン、ウスプルン加用の六斗式少石灰ボウルド液の撒布（六一五式ボウルド）

(ロ)温州は中旬を中心として早生を早期に次いで普通の順にダニ剤加用水銀ボウルド液の撒布の事

(ハ)ミカンのハモグリ蛾、スリップ被害の多い園においては、除虫菊乳剤の五〇〇倍又はPPT乳剤の同倍数を開花七、八分頃に撒布する。

(ニ)早生ミカン追肥は中旬を目標に

(ホ)敷草敷ワラ資材の確保は中旬迄に完了。

(ヘ)摘蕾……三、四年生までは完全に花もぎをする。

幼木の結果を、さす場合には、主枝、亜主枝の先端はテキライし樹冠拡大増長に努める。

結果位は樹高の三分の二以下にあるよう分位を求める。

甘藷について

今年の甘藷苗の生育は平年に比して整年生育が劣れているので四月下旬に苗床を長く中耕して、下肥又は硫安水を施して、苗の生育伸長を促がし、短苗の密植型として、晩期施肥で遅れることが今年の芋作のカギ

畜産関係について

1、牛の手入……冬から春夏に向うため機械の時期であるから、ブラシを目に一回は必らずかけること、乳牛の場合は乳房がまずとことによりても、日々のブラシ、クシをあてることほ春先手入は必須事である。

2、四月中旬は、飼料作物としてテチシントウ、又はスウダングラスの時期の適期です。

3、飼料用トウモロコシは五月上旬に第一回播種期として二十日毎に種を蒔くと、大切家畜飼料として晒好飼料である。

4、仔豚の離乳は二〇乃至三〇日を目標にして早期離乳として、行く事が仔豚の生育の成績よいです

5、妊娠豚の初期に日本脳炎の予防注射を行うようにしましょう

6、鶏は青葉青草を充分やる。駄鶏の淘汰と鶏舎予防に当りましょう。

蚕豆（ごやまめ）の象虫駆除に開花中に砒酸鉛の撒布が特効です

馬令薯開花期のボウルド撒布

農業改良普及員　篠川伊勢由

明るい一家

服部ミエ子

三光坊開拓地を訪ねて

「三光坊」ついこの間まではお寺の坊さんの名前位しか聞慣なかった名もなき一原野三光坊開拓地がみかんの新興産地として新聞等に紹介されひろく天下に知られるようになりましたが、その炊分けである当町大浜出身の方々を農業橋本産業課長の外協州人植時代の分けのシンボルともいうべき公民館の地点しか聞慣なられ、去る四月十三日落成記念祝賀会が盛大に行われましたので、仕事に紹介されひろく天下に知られるようになりましたが、その炊分けである当町大浜出身の方々を農業橋本産業課長の外協州人植時代の壮年祝福と激励のため伊町を代表して、川口町長、山本農協組合長しやっとの思いで悲しい開拓村の旧盟友吉川時太郎さんが出席しました。

当日は朝八時前宿を出発伊予市駅に降りた時は折からの降雨とタクシーのストで当惑している処を開拓地から谷藤萬幸さんが出迎えてくれていたので幸い車を走らせることができましたが山の取付に来るとスリップするから降りてくれと車をとめてしまいました。仕方なく雨に濡れながら道水の悪いどろんこ坂道をのぼることほ

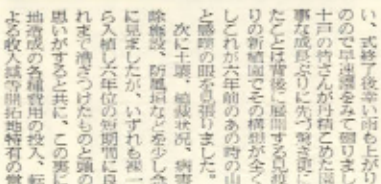
部屋づくと全員待機されて非常な歓迎を受けました挨拶をすませ早速新装なった館内を見てまわりましたがその充実ぶりは立派なもので備品は殆んどいなるまで整い、唯かが「もうこれで伊方かい軒下まで辿りつくことが出来ました。目標の公民館は丘を登り詰めた所にあって一目で解る青い屋根淡いグレーのブロック建の洋館でその美しさが印象に残ります。

九時半の予定が二時間おくれて開会し来賓長政藤能長さんの経過報告をかねた挨拶に始まり、会計報告、祝電披露、来賓祝辞の順で式次第の通り滞りなくとりおこなわれましたが、ここで特に市長さんの祝辞の一節をお知らせしたいと思います。

それは田園都市伊予市の農業は これまで、特産「い草」の売上約二億円で支えてきたが、これからは みかんにきりかえ十年後は目標一五〇〇町歩から一千萬貫の收量で

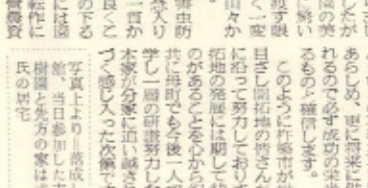
特に来賓として市当局から八坂市長さんが、議長、助役長と御一緒に忙しい御中を出席していただいたことは誠に命冥を感じた感がして会を一層ひきたてたようです

時間の経過と共に隣の新興部落の人々や遠く大神の方からも熱烈歓迎の皆さんが多数見えましたが、これは地元の人々に対する陽の光であると同時に果樹を本是と考えの激辞をおくられたのですが、これは地元の人々に対する陽の光であると同時に果樹を本是と考える本町にとっても大きな示唆を



動力となるものは、三光坊開拓地の皆さんであると市の協賛と主催者の激辞をおくられたのですが、これは地元の人々に対する陽の光であると同時に果樹を本是と考える本町にとっても大きな示唆を

十億円所得をかかげたい、その原動力となるものは、三光坊開拓地の皆さんであると市の協賛と主催者の激辞をおくられたのですが、これは地元の人々に対する陽の光であると同時に果樹を本是と考える本町にとっても大きな示唆を



今に先進地を追い越すのでないかと羨ヌられるからです。そこでその寒村とこれ迄部落人会の皆さんの土産話を実地検証したいと思い、式終了後幸い雨も上がりましたので早速隣をみて回りましたが十戸の皆さんが丹精込めた園の美事成長ぶりに先づ驚き眼に輝いたことは誠に感謝する見返す眼りの新植園でその構想が全く一変しどれが六年前のあの時の山々かと感慨の眼を見張りました。

次に土壌、植栽状況、病害虫防除施設、防風林など少し念入りに見ましたが、いずれも第一流から入植し六年位の短期間に良くこれまで積うけたものと頭の下る思いがすると共に、この寒には園地造成の各補償用の投入、転作による收入結帯開拓地特有の貴機資金、生活資金の板挟みには誠々なら処置に努力を続けられたことと又その苦労の並々ならぬことを偲びました。

しかし十戸の皆さんは大部の人達の元気な働き手と感じた明るい気分満洲時代からの同胞がよく色々の不利条件限して今にあらしめ、更に将来に向って居られるので必ず成功の栄光をかちとるものと確信します。

このように伊予市が柑橘三国を目さし開拓地の皆さんが市の方針に沿って努力しておりますので開拓地の発展には期して待つべきものがあることを心から祝福すると共に伊町でも後一人でも多く見学し一層の研鑽努力しなければ、本家が分家に追い越されるとつづく感じ入った次第です。

写真上より＝落成した公民館、当日参加した方々、果樹園と先方の家は後藤年長氏の居宅

人

婚姻

出生（三月二十日　四月十九日）

死亡